

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 09-015

PDCA	事務事業名	災害対策資機材等強化整備事業	部課等名	総務部 防災交通課 防災減災担当	担当	川村	
					内線等	287	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第1節 安全・安心な社会の形成 基本施策： 1. 防災対策 単位施策： (1) 災害時に備えた施設整備・対策の推進 個別施策： ②資機材等の整備					
	根拠法令等	災害対策基本法第49条					
	対象・目的	大規模災害時の避難所運営や公衆衛生、要配慮者支援に必要となる防災資機材等の整備を行い、避難者の受け入れ体制の強化を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	大規模災害時の避難所運営や公衆衛生、要配慮者支援に必要となる防災資機材を過去災害の教訓や経験談、地域住民の意見をもとに整備計画に取り入れ、適切に配備する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①はそりセット整備		—	5	4	か所
		事業費		—	—	20,969	千円
		人件費		—	—	3,086	千円
		総事業費		—	—	24,055	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①はそりセット整備コスト		—	367	374	千円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①はそりセット整備数（避難所43か所×1個）	実績値	—	5	4	か所
			目標値	—	5	4	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	A					
		避難所の機能向上及び避難者の生活再建の早期化に向けて、避難所運営に必要なはそりセットや公衆衛生対策に必要な紙おむつ、便収納袋を整備した。また、要配慮者支援に必要な避難所用スロープを新たに整備し、どの避難所においても車いすやシルバーカーを利用した要配慮者が出入りをしやすい環境整備に努めた。併せて、避難所内での感染症まん延防止を目的とした避難所用ワンタッチテントや、医師等が応急救護所にて行う医療行為中の感染を防止するための陰陽圧式テントなどの資機材を整備し、避難所等での感染症対策を強化した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		資機材の備蓄数量について、感染症を踏まえた適正数量に変更した結果、一部資機材について追加購入が必要となったことから、追加配備を進めていく。今後も社会情勢にあわせ、適正な数量、重要度の高い資機材の計画的な整備に努める。					
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①はそりセット整備数（避難所43か所×1個）		5	か所		